



令和元年
5月号



発行人 泉森 由貴
公益財団法人 田原公民館
奈良市生涯学習財団
奈良市茗荷町1078-1
TEL/FAX 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

「足元踏みしめて」

館長 泉森 由貴

新元号が令和に決まり、お祭りムードが漂っています。ただ、今春は何度も寒の戻りを経験し、暖房器具やコートをいつ仕舞おうか、迷われた方も多いでしょう。しかし、そのおかげで桜の花が長い間美しく、高原の田原では市街地が見頃を終えても咲き続け、しばらく春らしい日本の原風景を形成していました。

さて、奈良の桜の名所と言えれば思い浮かぶ場所はどこですか。遠足で行った奈良公園。岩石谷に咲く山桜。それぞれの学校の校門横に立つ思い出の太木でしょうか。中でも流れる水面に枝を伸ばして咲き誇る佐保川の桜は圧巻としか言いようがない元気な姿です。川沿いに桜が並んでいる様子は当たり前の景色に思えますが、皆さんはどうして川に桜ばかりが植わっているかご存じでしょうか。見た目が綺麗なこと。そこに秘密があります。実は奈良盆地の地形は水が貯まりやすく、数年に一度洪水などの水害に悩まされてきました。水害を抑えるには水のコントロールが必要です。そこで当時の権力者は河川工事に力を入れることにしました。重機のない時代ですから、人力によって進められます。そんな状況下、どれだけ堤防を固めても大水によって削られ流されることがありました。そこで、思

いついたのが桜の植樹です。桜は表に現れている幹や枝の分だけ地面に根を張りま。そして、花見に詰めかける人々の足で踏み固めをさせたといわれがあるのです。我々が観ている景色にはそんな背景があります。日本人の習性を生かした発想。まさにアイデアの勝利です。

公民館も予算が削減される中、まさに必要とされる要素がアイデアです。知恵や知識をもって取組を続けていかなければいけません。



横田町白山神社御造営に奉納された絵 絵師：平古力三

トヨタ自動車の豊田章男社長は「工業製品の中で愛を付けて呼ばれるのはクルマだけ。愛車と呼ばれることにこだわりたい。」と言います。愛館という言い方はありませんが、気持ちは同じです。地域の公民館として大切に思われ、愛され、自慢されるような存在でありたいものです。今春、田原公民館は新メンバーとなりました。これまでと変わらないご愛顧をお願いいたします。

春の人事異動がありました

幸せだった14年

吹ノ戸 由実子

ついにこの時が・・・いつか田原公民館を去る時が来ると覚悟はしていましたが、やはり人事異動の内示に私の名前も見つかった瞬間は、大きな動揺と困惑がありました。田原に始めて着任したのは平成16年でした。1年間都祁公民館で勤務しましたが、通算すると14年もお世話になったことになりました。

公民館は集い、学び、つながるところです。不安なお顔で講座に参加された受講生が笑顔で帰っていかれる。幾度と無く練習を重ねたグループさんが発表の舞台上で大きな拍手を受ける。地元の講師が生き生きと指導をされる。その様な幸せなつながりをたくさん目撃してきました。そしてそのお手伝いをさせてもらえたことをとても誇りに思っています。

地域の皆様には、気さくに声をかけていただき、支えていただき、温かくご指導いただき感謝の気持ちでいっぱいです。また、地元で働いたからこそ見つけた田原の素晴らしい景色や知り得た知識、人との出会いなど宝物をいっぱい作ることができました。



今は14年間で幸せだったと嬉しく、そしてそれが遠くに行ってしまうような寂しさ

を感じています。新しい職場の生涯学習センターでは、来館者の多さに驚き、今更の都会デビューで緊張の毎日を過ごしています。

今後は田原公民館の一利用者として、仲間と共に楽しく自らの生涯学習を極め、いつか地域に還元させてもらうことを目標に頑張りたいと思っています。

14年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

皆さま、よろしくお祈りします

上西 美智子

4月より、若草公民館から田原公民館へ来させていただきました上西です。今年、平成から令和に元号が変わる年です。

令和には、「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせる」との願いが込められています。

私も、皆さまのご意見を参考にしながら、地域の方々に協力していただき、皆さんと共に沢山の花を咲かせていきたいと思っています。

これから温かい公民館を目指すとともに、地元である田原の素晴らしい景色を広く発信していけるように頑張りますので、いつでも気軽に公民館をのぞいてください。よろしくお祈りいたします。





取材：泉森 由貴
写真：上西美智子

児童生徒数58名、先駆的な小規模校である田原小中学校を訪ねました。

穏やかな春です。5人の新入生を迎えた入学式の翌日に奈良市田原小中学校に着任されたばかりの宮久保忠典校長先生を訪ねました。▼本日はよろしくお願ひします。まずはご自身のことを。着任されたばかりと伺いましたが、転任される前はどちらでしたか。●月ヶ瀬小中学校の教頭を務めていました。田原と同じ小中一貫校です



ね。▼田原との関わりはありましたか。●私は初めですが、妻が教師として13年お世話になっていました。▼中学校の先生と伺いましたが、専科は何ですか。●技術科です。以前は美術や体育も受け持ったことがあります。▼お休みの日や普段続けている活動はありますか。●剣道です。週に3、4回は竹刀を振っています。長年やっているもので、もう教えるが指導者になって活躍しております。▼なるほど。6段の腕前を一度拝見したいですね。それでは学校のことを。この学校の印象は。●小規模校ですので、生徒は少ないですが、元気に挨拶を交わしてくれます。礼儀正しく、人懐っこいという印象をおもちました。

▼学校の強みや特徴は何だと思ひますか。●やはり9年間連続して同じテーマをもって活動できることです。まずは地域を知ること。そして追求する。最後に発信するまでを繰り返していくことができます。日本全国、人口減少問題を抱えています。特に奈良市東部は過疎化の流れが避けられない状況です。そんな中、自分たちの住む地域がどうやって生き残っていくのか。子どもたち自身に考えさせることが必要だと思います。いずれ地区外に巣立っていく子どもたちが暮らした育った田原をどんなところか説明できるようにしてほしいと。太安萬侶の墓があるのは知っているが、何を残した人なのか。一時のブームではなく、この魅力として捉えてほしいと思います。伝統産業や歴史などをしっかりと学習し、外に行つたときにそれを誇りにできるように教育を進めたいと考えています。▼そうですね。とても共感できる言葉ですね。ではこれからどんな学校にしていきたいですか。●先ほどの地域を誇れる子。そして外に出たときに一人になっても、環境が変わってもやっていける子が育つ学校にしたいです。たとえ田原を離れて社会に出ても、定年を迎えた後ここに戻り、また地域を盛り上げていけるような人材になってほしいですね。▼公民館もキッズの中でそんな意識をもって進めていきたいものです。では最後に田原の好きな景色はどこですか。●月ヶ瀬時代からよく走っていた水間トンネルを西に抜けたところからの景色です。特に田植えが始まったあとの水鏡がきれいですね。▼今日は先生の強い思いを伺うことができました。これからも地域とともにある学校であってほしいと思います。ありがとうございます。

よろしくお願ひします

浦川 温亮 (はるあき)



4月から田原公民館の臨時職員として採用されました、矢田原町の浦川温亮です。田原に生まれて六十数年ですが、まだまだ知らないことがいっぱいあります。地区の皆さんのご協力を賜りながらスツップと共に頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

東部出張所からのお知らせ

大谷 佳代



4月より東部出張所の臨時職員に採用されました、大谷佳代と申します。週二回火・木曜日は、公民館内の出張所田原事務室、その他の日は、東部地域の振興に関する業務の補助業務を担当しています。子育てもひと段落し、約十年ぶりに働かせていただくことになりました。田原で暮らすようになり十年になりますが、まだ知らない事もたくさんありますので、地域の皆さまにいろいろ教えていただけたらと思ひます。私を見かけたら気軽に声をかけて下さいね。どうぞよろしくお願ひいたします。

アライグマの獣害対応について

東部出張所ではアライグマ等の捕獲器を現在貸出しておりますが、手順を次のように変更いたします。貸出期間は最長7週間です。

- 捕獲器(檻)貸出・設置 <火・木のみ>
- 捕獲した場合
- 捕獲報告 農政課 34-5142
- 農政課による駆除処理 <月・水・金のみ>
- 旧田原連絡所へ返却

FAX番号の変更について

田原公民館のファクス番号が変更されました。電話番号と同一になります。ご注意ください。

〈新〉 0742-81-0001
〈旧〉 0742-81-0888

5月の公民館行事とその他のお知らせ

- 1日(水) 祝日 即位の日
- 2日(木) 祝日 国民の休日
- 3日(金) 祝日 憲法記念日
- 4日(土) 祝日 みどりの日
- 5日(日) 祝日 こどもの日
- 6日(月) 祝日 振替休日
- 11日(土) 十三重石塔 塔の森のナゾ
- 17日(金) 第1回 老春塾「認知症介護の現状について」
- 18日(土) 第1回 TAWARAキッズ「さつま芋の植え付け」
- 25日(土) 第1回 田原ファン倶楽部～夏編～ 「ほがしわ弁当作り・竹のクラフト」
- 30日(木) 第1回 プチ田舎暮らし・田原～しそ作り～

